

令和4年度境町甘藷生産組合現地研修会を開催

境町では、さかいまちづくり公社が令和元年度から地場特産品としての干し芋製造を開始しています。境町産カンショ生産を担う組合として、タバコ廃作農家を中心に「境町甘藷生産組合」が組織され、令和4年度から栽培が始まっています。

当地域でのカンショ栽培は新しい取り組みであることから、技術向上と安定生産を目的に、8月29日に現地研修会を開催し、境町甘藷生産組合員をはじめ、境町役場、さかいまちづくり公社等の関係機関や、カンショ栽培に関心のある農業者など約40名が出席しました。

まず、実証ほの試し掘りを行い、良好に生育していることを確認するとともに、株間や挿し苗方法による違いについて検討しました。また、先進技術の紹介として、ドローンによる農薬散布の見学、情報交換会を行いました。

普及センターでは、今後も技術向上と安定生産のための支援をしていきます。

令和4年9月7日 坂東地域農業改良普及センター 札 周平（成長産業）



写真1 試し掘りの様子



写真2 ドローンによる農薬散布の見学の様子